



「エンジヨイベースボール」に込められた意味

森林貴彦監督 慶應義塾高等学校野球部

勝利を目指して自分で考えることが楽しむことにつながる

2023年夏の甲子園大会（全国高校野球選手権）で優勝した慶應義塾高校。選手たちが時には笑顔を見せて楽しそうにプレーする姿が話題となり、慶應義塾高校が掲げる「エンジヨイベースボール」という言葉にも注目が集まりました。そこでこの言葉について森林監督に尋ねてみました。

「エンジヨイ」とは「楽しむ」という意味ですが、勝つても負けてもいいから、みんなで楽しくやるということではありません。より高いレベルの野球を楽しもうという意味が込められています。そのため何をしなければいけないのかを自分で考え、一人一人が自分の意志で取り組む。やらされる



るのではなく、好きでやっている野球を徹底的に追求してもらいたい。それが楽しむことにつながると思います。甲子園で見た笑顔の裏には、多くの努力の積み重ねがあったことを知ってほしいですね。

相手の良いプレーにも自然と拍手を送る

また、慶應義塾高校の選手たちに変化があったそうです。「相手の良いプレーに対しても、たたえるようになったんです」。甲子園大会ではホームランを打たれて先に点を取

られてしまったものの、慶應義塾高校の選手たちは相手チームに拍手を送っていました。「フェアプレーでもあり、心の強さの表れだとも思います。選手たちは、心から野球を楽しんでいるんだと感じました」。



日本は第1回（2006年）と第2回（2009年）、そして昨年の第5回と、5回のうち3回も優勝をしています。第3回（2013年）はドミニカ共和国、第4回（2017年）はアメリカ合衆国が優勝しています。



スポーツものしりクイズ

問題

野球の世界大会「WBC」はこれまでに5回開催されましたが、優勝回数が一番多い国は？

A 日本

C 韓国

B アメリカ合衆国



世界が注目したリスペクト

〈野球〉チエコ代表チーム 日本代表チーム



2023年 野球の世界大会である WBC

佐々木投手の投げた速球がバッターの足に直撃

謝る佐々木選手は少し心配そう...



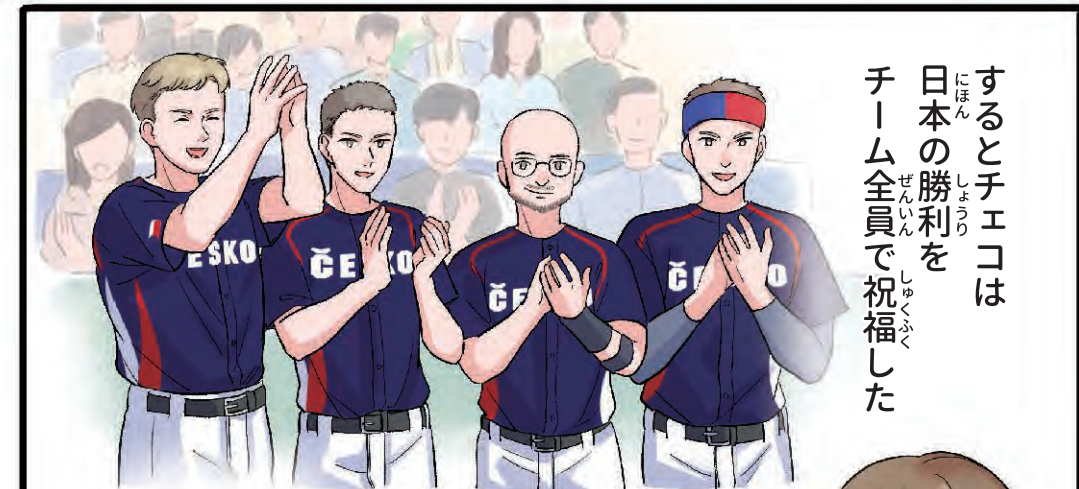
日本VSチエコ



チエコの選手は立ち上がると全力で走ってみせた

野球だからボールが当たることもあるよ

自分にケガがないことを示して周りを安心させたのかな



するとチエコは日本の勝利をチーム全員で祝福した



その光景にスタジアムを包む拍手が一層大きく鳴り響いた



試合は日本が勝利

この大会がきっかけでチエコの野球人気が上がっているみたいよ



WBC出場選手のフェアプレーがチエコの人たちの共感を得たのかもね